

平成29年度図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	年を取って目が悪くなったので、小さい文字を読むのがつらい。大活字本を利用したいが、どれぐらいあるのか。	小竹図書館の大活字本コーナーは書架2連分ほどです。他館で所蔵しているものも多数あり、取り寄せることが可能ですので、カウンターでご相談ください。	◎
2	YAコーナーや児童コーナーの閲覧席を誰でも使えるようにしてほしい。	YAコーナーについては学生のいない時間帯、どなたでも使えるようになっています。今後、よりわかりやすくするために、掲示を工夫します。	◎
3	初めて来る人にとって、小竹図書館の場所が分かりにくい。駅にチラシを置いたり、地図や標識などがあるといい。	案内掲示板の主管課とも相談し、対策を検討します。	□
4	認知症サポーター養成講座をやっていたなんて知らなかった。私も参加したいので、今後も開催してほしい。	来春に再び開催する予定ですので、ご参加ください。	◎
5	本を通じて人と人が触れ合うような会を開催してほしい。「〇〇を読む会」など、感想を言い合えるようなイベントを希望する。	次年度以降の事業計画作成時に検討します。	○

6	<p>(栄町敬老館との連携事業である「絵本のよみきかせ講座」のように) 子供と高齢者とだけでなく、大人と高齢者が関わり合える機会をつくってほしい。</p>	<p>既に傾聴ボランティア入門講座などを開催し、きっかけづくりをしています が、今後もこういった機会を増やしていきます。</p>	□
---	---	--	---

※練馬区立図書館全体に関する質問、意見等については、別項「図書館全体に関する意見、意見の概要」にまとめました。